

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	治水事業〔広域連携河川改修事業（国補）〕			事業箇所	甲斐市 竜王	地区名	貢川	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項（関連事業概要等） ・既整備状況 河川改修 L=260m H20～H23 580百万円					
	H24～R1	H24～R9	H24～R9						
総事業費	940 百万円	1,435 百万円	1,568 百万円						
(1) 事業の概要				⑤これまでの評価状況（令和2年度再評価） ・事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和9年度の完成に努められたい。					
①事業目的及び効果 貢川は甲斐市大佐を上流端とし、甲斐市竜王、甲府市を流下する流域面積14.5km ² 、流路延長7.1kmの一級河川である。 平成12年9月洪水や平成14年7月の豪雨で貢川の水位が上昇したことにより、浸水被害が起きており、特に流下能力が不足している長塚橋下流～勸進橋区間は、氾濫被害が懸念される。 このため、流下能力の向上を目的とした河道改修を実施し、被害の防止を図る。 □主要目標 ○洪水被害の防止 改修目標流量に対する現況流下能力の割合：0.7 > 0.4※以下 浸水被害又は水防活動の実績：有 想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 ※評価基準 □副次目標 ○なし □副次効果 ○被災時の被害波及の防止 ○身近な緑地・交流の場の提供									
②事業概要 全体計画施工延長 L=640m 治水安全度 85m ³ /s（1/3）→ 120m ³ /s（1/10）									
③全体計画									
		令和6年度まで	令和7年度 （評価実施年度）	令和8年度以降					
現計画	工事内容	護岸工：520m 橋梁：1橋 設計：1式 用地補償：1式	護岸工：40m	護岸工：80m					
	事業費	1195 百万円	80 百万円	160 百万円					
変更計画	工事内容	護岸工：545m 橋梁：1橋 設計：1式 用地補償：1式	護岸工：35m	護岸工：60m					
	事業費	1348 百万円	80 百万円	140 百万円					

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

② 事業位置図等

2.評価シート（1）																																																																	
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容) ①地域・住民の意向状況 令和6年8月豪雨により、計画区間上流にて平成28年9月台風に続き護岸が被災したこともあり、住民より安全な川づくりを求められている。 ②産業・経済情勢 労務費・建設資材費の上昇 ③国等の方針 変化なし ④上位計画・関連事業計画等 ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂） ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定） ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定） ⑤自然環境条件等 変化なし ⑥その他 なし		(2) 評価時点の費用対効果分析 <table><tr><th colspan="2">項 目</th><th>着手時点</th><th>再評価時点</th><th>変更計画時点</th></tr><tr><td colspan="2">総事業費</td><td>940 百万円</td><td>1,435 百万円</td><td>1568 百万円</td></tr><tr><td colspan="2">工 期</td><td>H24～R1</td><td>H24～R9</td><td>H24～R9</td></tr><tr><td rowspan="10">経 済 効 率 性</td><td>評価基準年</td><td>H24</td><td>R2</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="4">費用</td><td>835 百万円</td><td>1,236 百万円</td><td>2,013 百万円</td></tr><tr><td>建設費</td><td>827 百万円</td><td>1,220 百万円</td><td>1,882 百万円</td></tr><tr><td>維持管理費</td><td>8 百万円</td><td>16 百万円</td><td>131 百万円</td></tr><tr><td>その他(</td><td>百万円</td><td>百万円</td><td>百万円</td></tr><tr><td rowspan="5">便益</td><td>8,005 百万円</td><td>9,505 百万円</td><td>9,906 百万円</td></tr><tr><td>一般資産被害防止額</td><td>2,576 百万円</td><td>3,059 百万円</td><td>4,798 百万円</td></tr><tr><td>公共土木施設等被害防止額</td><td>4,364 百万円</td><td>5,182 百万円</td><td>3,560 百万円</td></tr><tr><td>その他※</td><td>1,065 百万円</td><td>1,264 百万円</td><td>1,549 百万円</td></tr><tr><td></td><td>百万円</td><td>百万円</td><td>百万円</td></tr><tr><td colspan="2">B／C</td><td>9.6</td><td>7.7</td><td>4.9</td></tr></table> 費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上 費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※その他は、間接被害防止便益 ※一般資産被害防止額と公共土木施設等被害防止額の便益比の差については、治水経済マニュアルの変更による。			項 目		着手時点	再評価時点	変更計画時点	総事業費		940 百万円	1,435 百万円	1568 百万円	工 期		H24～R1	H24～R9	H24～R9	経 済 効 率 性	評価基準年	H24	R2	R7	費用	835 百万円	1,236 百万円	2,013 百万円	建設費	827 百万円	1,220 百万円	1,882 百万円	維持管理費	8 百万円	16 百万円	131 百万円	その他(	百万円	百万円	百万円	便益	8,005 百万円	9,505 百万円	9,906 百万円	一般資産被害防止額	2,576 百万円	3,059 百万円	4,798 百万円	公共土木施設等被害防止額	4,364 百万円	5,182 百万円	3,560 百万円	その他※	1,065 百万円	1,264 百万円	1,549 百万円		百万円	百万円	百万円	B／C		9.6	7.7	4.9
		項 目		着手時点	再評価時点	変更計画時点																																																											
		総事業費		940 百万円	1,435 百万円	1568 百万円																																																											
		工 期		H24～R1	H24～R9	H24～R9																																																											
		経 済 効 率 性	評価基準年	H24	R2	R7																																																											
費用	835 百万円		1,236 百万円	2,013 百万円																																																													
	建設費		827 百万円	1,220 百万円	1,882 百万円																																																												
	維持管理費		8 百万円	16 百万円	131 百万円																																																												
	その他(		百万円	百万円	百万円																																																												
便益	8,005 百万円		9,505 百万円	9,906 百万円																																																													
	一般資産被害防止額		2,576 百万円	3,059 百万円	4,798 百万円																																																												
	公共土木施設等被害防止額		4,364 百万円	5,182 百万円	3,560 百万円																																																												
	その他※		1,065 百万円	1,264 百万円	1,549 百万円																																																												
			百万円	百万円	百万円																																																												
B／C		9.6	7.7	4.9																																																													
(3) これまでの計画変更等の概要 (令和2年度再評価) 長塚橋上流区間について、当初計画では拡幅が必要となる右岸のみを改修する計画としていたが、平成28年に左岸の空石積護岸が出水による被災を受けたことから、左岸の護岸改修を令和2年に追加し、令和9年まで事業期間を延長した。 ・完成年度 令和2年度 → 令和9年度 ・事業費 940百万円 → 1,435百万円																																																																	

評価シート (2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）89%→（実績）91%

②進捗率実績が計画と相違している理由

なし

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
護岸工	133百万円 増減	仮設工における施工方法の変更
合 計	133百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

計画どおりR9年度に事業完了予定

⑤今後の事業執行における留意点

なし

(5) 環境負荷等への配慮

地域と連携し親しみのある河川空間の形成を実現する。また、捨石や埋戻し等は現地材を利用し、植生については在来種が生育するよう環境に配慮した河川改修を行う。

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 (継続)・見直し継続・その他 ()

(理由)

河川の氾濫による災害を防止するため、計画のとおり令和9年度の完成を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

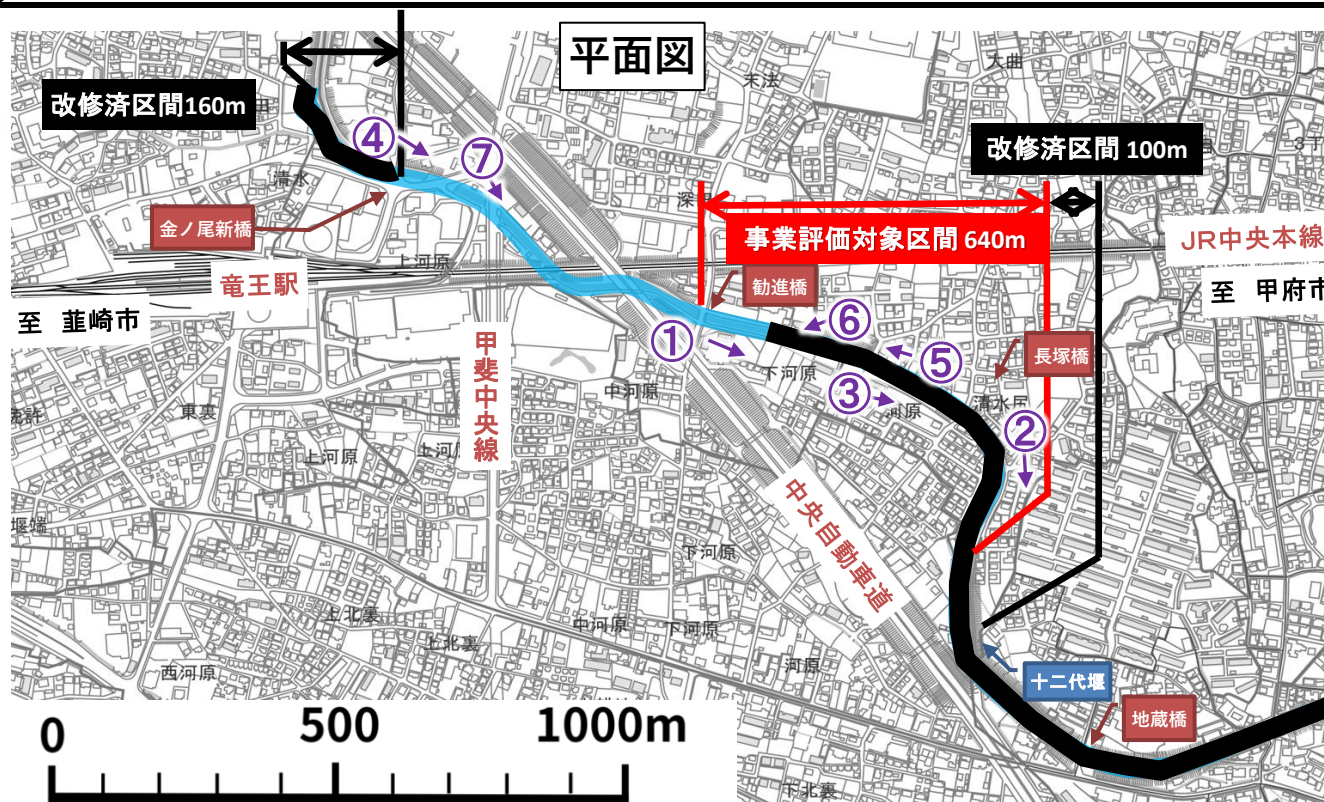
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	*R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9
現	計画	6.8	14.1	24.9	30.5	37.4	44.1	49.4	55.4	61.0	66.6	72.1	77.7	83.3	88.9	94.4	100
	実績	6.8	14.1	24.9	30.5	37.4	44.1	49.4	55.4	61.8	69.5	79.3	87.7	93.9	99.5		
変更計画															91.1	96.0	100

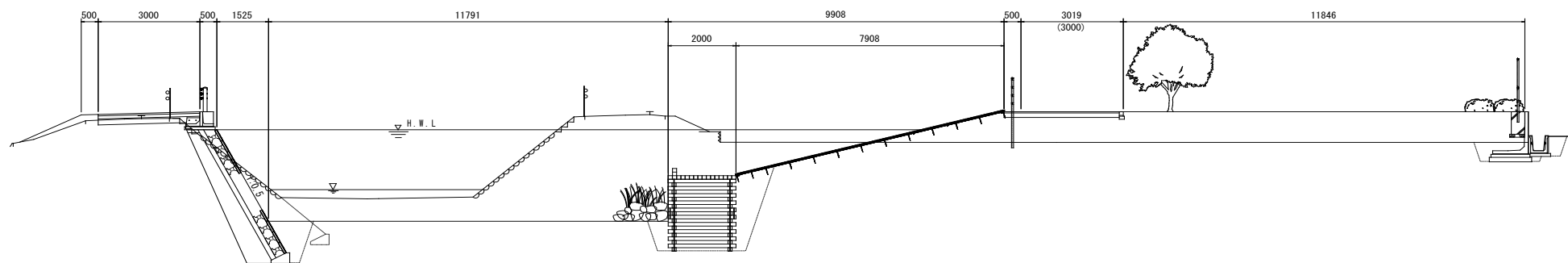
*事業着手年度又は評価年度

*R7年度の実績は見込み

3.添付資料シート（1）



標準横断面図



3. 添付資料シート（2）

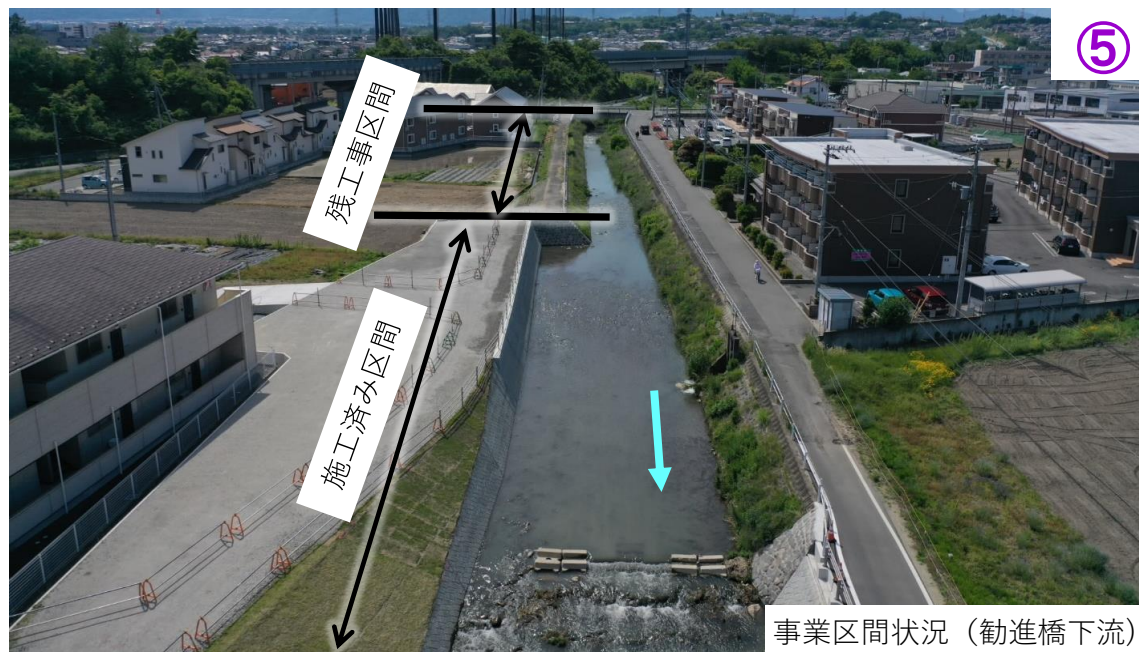
勸進橋下流側



平成12年9月 貢川の出水状況



3. 添付資料シート（4）



3. 添付資料シート (5)

事業費増加の要因

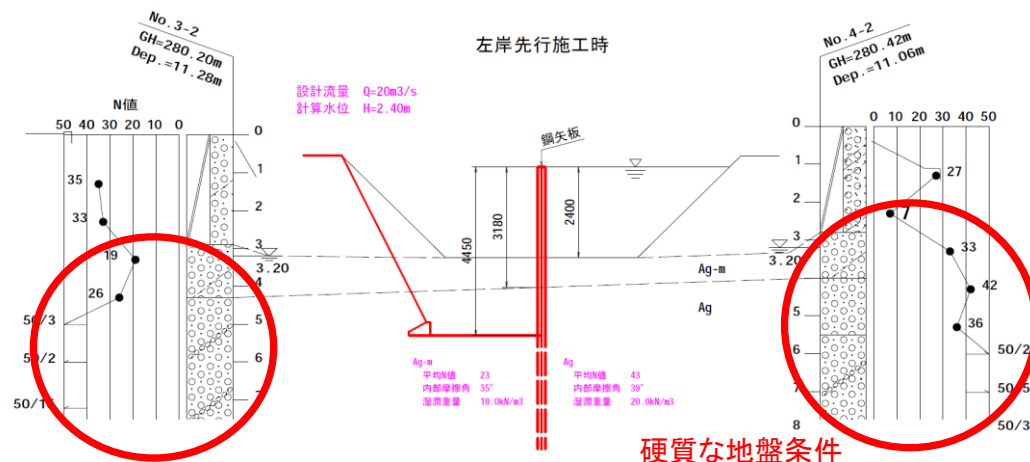
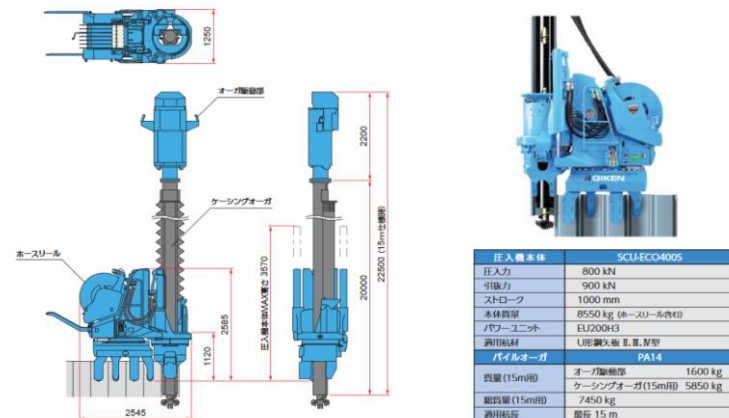
【仮設工】 仮締切矢板打込機器の変更による施工費増加

○仮設工における鋼矢板締切工の施工方法が、当初油圧バイプロ工法(低振動)で計画していたが、想定し得ない地盤条件により、密実な地層及び玉石混じり土砂により、鋼矢板貫入が困難であるため、硬質地盤クリア工法に変更したことにより、施工費が増加した。

複合式圧入機

複合式圧入機は、1台の施工機械で単独・ウォータージェット併用・硬質地盤圧入の施工が可能な圧入機として、NETIS(国土交通省 新技術情報提供システム)に登録されています。(登録番号: CB-080010-VE)

■ SCU-ECO400S(U形鋼矢板400mm幅)



油圧バイプロ工法→硬質地盤クリア工法

133百万円増額



仮締切工施工状況(硬質地盤クリア工法)①



仮締切工施工状況(硬質地盤クリア工法)②

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	97,000	用地測量1式 橋梁設計1式 護岸工L=110m	10.3
H25	106,000	地質調査1式 用地補償1式 護岸工L=40m	21.6
H26	154,000	用地補償1式 護岸工L=60m	38.0
H27	81,000	用地補償1式 護岸工L=20m 下水道管1式	46.6
H28	99,000	用地補償1式 橋梁1式	57.1
H29	96,000	護岸設計1式 用地補償1式 橋梁1式 護岸工L=26m	67.3
H30	76,000	用地補償1式 護岸工L=24m	75.4
R1	86,000	護岸工L=40m	84.6
R2	92,000	護岸工L=40m	56.6
R3	111,000	護岸工L=40m	63.6
R4	140,000	護岸工L=55m	72.6
R5	120,000	護岸工L=50m	80.2
R6	90,000	護岸工L=40m	86.0
R7	80,000	護岸工L=35m	91.1
R8	80,000	護岸工L=35m	96.2
R9	60,000	護岸工L=25m	100.0
合計	1,568,000		